学校番号	３１５

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「地学基礎　改訂版」　（啓林館）						
副教材等	「サンダイヤル　地学基礎の基本マスター」　（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近に起こっている現象に興味を持ち、身近なところから，遠く大きいところへ，思考してください。私たちの住んでいる地球の内部構造を理解して、火山や地震などの起こるメカニズムに興味をもってください。地球をめぐる大気の運動により天気が変化することを調べてください。星空の観察から宇宙について関心を深め、宇宙の成り立ちについて学習してください。

２　学習の到達目標

②　地学的な事物・現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探求心を高める。
②地学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な自然観を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・地球や宇宙の事物・現象について関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身につけている。	・地球や宇宙における事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・観察・実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，地球や宇宙における事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	・地球や宇宙における事物・事象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録・発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録・発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録・発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録・発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1部　固体地球とその変動	第１章　地球	○	○			a：地球の形と大きさについて，どのような方法で調べたのか，また，実際の形・大きさや内部構造はどうなのか，興味を持って意欲的に学習し、発表することができる。 b：プレートの運動により，地震や火山，現在の大地形などが形成されていると考え、発表することができる。 c：火山灰から鉱物を識別することができる d：火山や地震などの地質現象について基本的な知識を身につけるとともに，それらの現象が地球内部に蓄えられたエネルギーと深く関連していることが理解できる	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録・発表 定期考査の結果
		第２章　活動する地球			○	○		
2学期	第2部　移り変わる地球	第１章　地球史の読み方		○			a：地球をめぐる大気の運動により天気の変化が引き起こされることについて，意欲的に学習し、発表することができる。 b：時代を経るごとに生物が多様化し，いかにうまく環境に適応してきたかを考えることができ，生命の大切さについても判断でき、発表することができる。 c：風向の変化から台風の進路を予想したり，天気図から天気の変化を予想したりすることができる。 d：海洋と海水についての知識を身につけ，水圏と気圏が互いに関連しあっていることが理解できる。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録・発表 定期考査の結果
		第2章　地球と生命の進化		○				
	第3部　大気と海洋	第1章　大気の構造	○					
		第2章　太陽放射と大気・海水の運動	○			○		
		第3章　日本の天気			○			
3学期	第4部　宇宙の構成	第1章　太陽系と太陽	○				a：地球や惑星の運動，太陽系の構成について興味を持ち，観察や実験を行いながら積極的に学習し、発表することができる。 b：太陽が恒星のひとつであることが把握でき，太陽の性質と特徴について考え，それを表現し、発表することができる。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述　探求活動の記録・発表 定期考査の結果
		第2章　恒星としての太陽の進化		○				
		第3章　銀河系と宇宙			○			

	第5部　自然との共生	自然災害と社会				○	c: 宇宙が膨張していることを，モデルを使って確かめることができる。 d: 過去に起こった災害を理解し、エルニーニョ現象，オゾン層破壊など近年に起こっている現象のもたらす影響を把握することができる。	
		人間生活と地球環境の変化				○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。